



ROCK PAINT

カチオン型合成樹脂エマルジョンシーラー

ロックカチオンシーラーマルチⅢ (透明)

素地や旧塗膜によく浸透し、
上塗り塗料が幅広く適用できる
水性シーラーです。

JIS K 5663

合成樹脂エマルジョン
ペイント及びシーラー

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

「ロックカチオンシーラーマルチⅢ」は、
カチオン系アクリルシリコンハイブリッド樹脂をベースとしたエマルジョンシーラーです。
浸透性にすぐれ、塗膜が自己架橋するため付着性が大変すぐれます。

特長

●環境対応型

TVOC(全揮発性有機化合物)を1%未満に抑えた環境対応型水性タイプのため、
扱いやすくなっています。

●すぐれた付着性

旧塗膜や素地によく浸透し、付着性にすぐれています。

●幅広い塗装適性

水性のため、溶剤系シーラーでは旧塗膜のちぢみが発生しやすい条件でも
安心して使用できます。また上塗り塗装も水性塗料から弱溶剤型塗料まで
幅広く使用できます。

適応素材

- 屋内外部コンクリート、モルタル、フレキシブルボード、窯業系サイディングボード、
住宅用化粧スレート(各種新屋根材*など)、けい酸カルシウム板*など

*洋風コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)は塗装に適しません。

けい酸カルシウム板は素材、劣化度合いにより、付着不良を起こす場合がありますので試し塗りを行った後、仕様を決めてください。

適応旧塗膜

- 各種水性仕上材、弾性系仕上材、吹付けタイル、リシン、溶剤型アクリル、ウレタン系塗膜、塩ビ系塗膜

ロックペイント株式会社

ロックカチオンシーラーマルチⅢ

カチオン型合成樹脂
エマルジョンシーラー

標準塗装仕様 (塗り替え)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ	水	ハケ・ローラー : 0(通常不要) エアレス : 0(通常不要)	1	0.07~0.13	3時間以上
適応上塗り塗料	水性塗料: ハイパービルロックセラ(111L)、サンフロンアクア(081L)、ビニロックウレタン(108L)、ユニロックハイグロス(072L)、弾ビニⅡシリーズ(032L)、水性エパーロック(092L)、ビニロックシリーズ(031、032L)、ユニロックV.0-II(075L)、ロック水性プロテクトーフ(129L)など 弱溶剤塗料: ハイパーユメロック(114L)、ユメロック(114L)、サンフロンUV(081L)、1液ユメロック(024L)、ダイナロックⅢ(018L)など					

*仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

*旧塗膜は活膜であることが前提です。

*適応上塗り塗料の詳細な使用方法、注意事項については、それぞれのカタログをご参照ください。

塗布面積 115~214m²/15kg・回

品番・容量 033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ 15kg

施工上の注意

- 本製品はカチオン性であり、一般的な水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ・ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。
- 塗面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。(含水率10%以下、pH9.5以下)
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- さび缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類はサビが発生するおそれがあります。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用し高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてきたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れを起こすことがあります。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型のシー

- ラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- 押出成形板、GRC板などの新設塗装には、下塗り塗料としてユメロックシーラー(二液型)を使用してください。ただし種類によっては付着不良を起こす場合がありますので、試し塗りをすることをお勧めします。
- けい酸カルシウム板へ塗装する場合は、種類、劣化度合いによっては粘着材の強いテープにより塗膜が多少剥離する場合がありますので注意してください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒の処理のサイディングボードには適応していませんが、ハイパーシーラーエポ(弱溶剤2液型)を下塗りとした仕様がありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 素地の吸い込みが大きい場合、ぬれ感が出る程度が適量です。素地の下地処理の状況や素地の種類、含水率などにより塗付量が大幅に変わります。標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 上塗りに強溶剤型塗料を使用することは避けてください。
- シーラー塗装後、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こしますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 防錆性はありません。金属部への下塗り塗装にはサビなどを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を使用してください。またこのシーラーを金属部分に塗装した場合、サビが発生することがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜が白化、ふくれ、剥離が発生することがありますので、養生シートの設定方法などに配慮し、換気を促してください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗付量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 屋根に塗装する場合、露出している屋根材の素地が脆弱な場合は、剥離の原因となりますので塗装は避けてください。(瓦を張り替えが望ましい。)
- このカタログに記載されている適応上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

安全衛生上および取扱上の注意

(製品の危険・有害性)

- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

(救急処置)

- 目に入った場合には多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。

(施工後の安全性について)

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

(取扱の注意事項)

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落とすしてください。
- よくふたをし直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

*安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。



ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11-201
TEL(222)349-8677 FAX(222)283-3255

西関東営業部 〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区娘島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000-34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <http://www.rockpaint.co.jp>

*本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店